

参考資料 13. 諸外国の医療制度改革

—財源調達、財政システムの事例(ドイツ、フランス、イギリス、韓国)

1. ドイツ：リスク構造調整 (RSA)

○競争と保険者選択を条件とした、同一の存立基盤を持つ保険者間の財政調整システム

ドイツでは、被保険者に医療保険者（疾病金庫）の選択を認め、保険者間の競争を促す条件整備として「リスク構造調整 (RSA)」と呼ばれる、財政調整が行われている。リスク構造調整は、保険者間における、①基礎収入、②家族被保険者数、③性別、④年齢階級、⑤障害年金受給の有無—によって区分した、被保険者の割合が異なることによって生じる財政的な影響を調整する仕組みである。

ドイツの公的医療保険制度は、被用者保険制度であり、日本と異なり皆保険とはなっていない(*2007年改革法により09年から皆保険化へ)。リスク構造調整は、「疾病金庫」という存立基盤が同一の医療保険者間の財政移転システムであることに留意する必要がある。存立基盤が同一という前提から、同じ疾病金庫でも「農業疾病金庫」は財政調整の対象とはなっていない。その理由は、農業疾病金庫に対してのみ大規模な公的補助による財政負担の調整が行われていることによる。

リスク構造調整の概要(*簡素化したイメージ)

すべての疾病金庫がそれぞれの基礎収入総額から同じ割合で拠出し、その拠出総額から、各疾病金庫はそれぞれの性別、年齢階級、障害年金受給の有無で区分した被保険者数に応じて標準的に必要となる給付費を受け取る(*実際には「財政力」と「所要保険料」との差額を拠出・交付)。
[松本勝明, 2003, pp190-191 より]

(財政力)

* 標準化された保険料総額

全疾病金庫の給付を賄う
ために必要な保険料率
(計算上の平均保険料率)
×
当該疾病金庫の基礎収入総額

(所要保険料)

* 標準化された給付費総額

性・年齢階級別平均給付費
×
当該疾病金庫の対応する
性・年齢階級別被保険者数



2. フランス：一般社会拠出金（CSG）の導入

○制度の持続性、機能強化を高める観点から、広範な賦課ベースを持つ 社会保障目的税による財源代替化

フランスでは、公的医療保険制度の持続性・機能強化を高める観点から、社会保険料と同等の性格を持つ「一般社会拠出金」（CSG）と呼ばれる社会保障目的税への財源代替化が行われている。一般社会拠出金は、給与所得者のみに負担が偏重しないよう、賃金等の稼働所得のほか、株式譲渡益などの資産所得や投資益、賭博益など広く賦課されている。

社会保険料から目的税による財源代替化の背景には、給付水準と受給者数の拡大により給付費が増加するなかで、企業の保険料負担が労働コストとして把握されるようになり、保険料の引き上げが難しい状況がある。現在、医療財源のうち保険料の比率は42%、税の比率は40%となっている。

社会保険料と一般社会拠出金（CSG）

社会保険料(医療)				
	事業主負担	被用者負担		
保険料率	13.10%	0.75%		
一般社会拠出金(CSG)の税率と医療保険への充当				
				医療保険への充当
稼働所得	賃金		7.50%	5.29%
	非賃金		7.50%	5.25%
代替所得	所得税課税者	失業手当	6.20%	3.95%
		日額手当		
		退職年金	6.20%	4.35%
		障害年金		
	所得税非課税・居住税課税者		3.80%	3.80%
資産所得			8.20%	5.95%
投資益			8.20%	5.95%
賭博益			8.20%	7.25%

3. イギリス：税方式による医療保障（NHS：国民保健サービス）

○税方式によるマクロ的抑制と医療サービスに対する影響

イギリスの国民保健サービス（NHS）の主な財源は、租税（国税）であり、他の公共サービスと同様、予算枠が決っている。予算枠が増えない限り、原則として支出の増加が認められないため、マクロ的な抑制作用が働きやすく、国民保健サービスに関しても、総予算の伸びを抑制する形で総支出を抑制することが可能となる。

しかし一方で、総枠予算の伸びを抑制し続けた影響、弊害など問題点も多い。事実、2003年までイギリスのGDPに占める医療費の割合は7%台とOECD諸国のなかで最低水準にあったが、その影響は、医療サービスの量・質の両面に大きな弊害—①病棟閉鎖、医療従事者の雇用調整、②深刻な待機問題（数ヶ月におよぶ入院待機リスト、平均3時間以上の救急医療における待機時間など）、③医療施設・設備の老朽化、④低賃金、長時間労働による医療従事者の士気の低下—をもたらし、国民の大きな不満の的となった。なお、2001年誕生のブレア政権は、選挙公約で医療費を1.5%引き上げることを掲げ、政策転換を図っている。

医療費対GDPの推移

